

神門通り

しんもんどおり

島根県、出雲市

所在地：島根県出雲市大社町

■路線データ



軒先利用

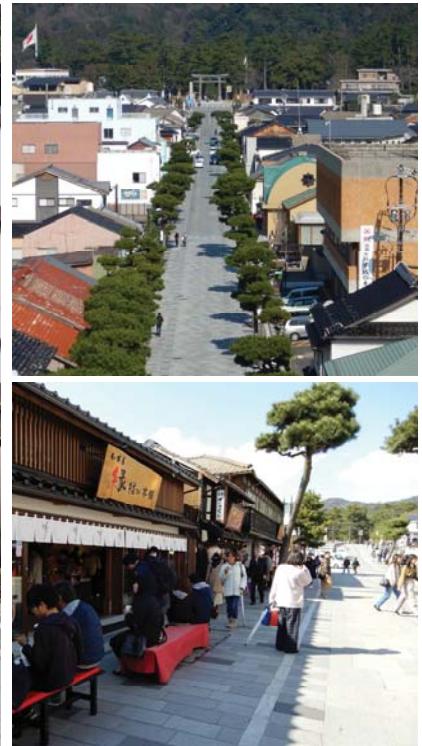


駅前



再構築

地図出典：OpenStreetMap



■都市区分 人口10～40万人

■整備年代 2015年

■利活用団体 神門通り甦りの会
神門通りおもてなし協同組合

■用途地域 商業地域

■参考情報リンク

https://www.pref.shimane.lg.jp/infra/toshi/kikan/izumo_kendo/shinmon1.html

■概要

平成25年に行われた60年に一度の出雲大社御本殿の大遷宮。この一大行事に合わせる形で、「神門通り」を何とか出雲大社の門前にふさわしい風格とにぎわいのある通りへ再生させたい。安心して楽しみながら歩ける道とするための道路幅員構成の見直しや、石畳舗装化、官民一体となった沿道の町並みの景観作り、にぎわい作りの取り組みを、地域をあげて進めている。

大分いこいの道

おおいたいこいのみち

大分市

ウォーカブル推進都市

所在地：大分県大分市東大道

■路線データ



地図出典：OpenStreetMap

■参照

ストリートデザインガイドライン



■都市区分 中核市

■路線延長 約0.4km

■整備年代 2013年

■再整備区間 約0.4km

■利活用団体 大分いこいの道協議会他多数

■再構築・利活用状況

【再構築】区画整理事業でシンボルロードとして再整備

【利活用】広場条例を策定し運用しており、各種団体が活動を実施
大分いこいの道協議会が日常的な芝生の維持管理を実施

■用途地域 商業地域／近隣商業地域

■参考情報リンク

<https://www.city.oita.oita.jp/o170/machizukuri/ikoinomitigaiyou.html>

■概要

大分駅周辺総合整備事業の1つとして実施された、大分駅南土地区画整理事業で整備された。大分駅南口駅前広場の目の前に位置する幅100メートル・長さ444メートルのシンボルロード「大分いこいの道」は、緑溢れる芝生広場を有する新たな市民の活動拠点であり、にぎわいや憩いの場として親しまれている。芝生広場は、ボランティア団体「大分いこいの道協議会」が中心となって、清掃や芝生の維持管理を行っている。

御堂筋

みどうすじ

大阪市

ウォーカブル推進都市

所在地：大阪府大阪市中央区

■路線データ



軒先利用



パークレット



再構築



地図出典：OpenStreetMap

■参照

ストリートデザインガイドライン

官民連携による街路空間再構築・利活用の事例集

■都市区分 政令指定都市

■路線延長 約4.2km

■整備年代 －

■再整備区間 約3.0km

■利活用団体 －

■再構築・利活用状況
【再構築・利活用】

側道を一部閉鎖した際の交通影響やパークレットを設置する等、賑わい創出の社会実験を実施

■用途地域 商業地域

■参考情報リンク
<https://www.city.osaka.lg.jp/kensetsu/page/0000239158.html>

■概要

御堂筋完成 100周年（令和19年）をターゲットイヤーとして、人を中心の「フルモール化」を打ち出し、コンセプチュアルでわかりやすいビジョンを示し、その実現に向けて社会実験を実施している。

なんば駅周辺

なんばえきしうへん

大阪市

ウォーカブル推進都市

所在地：大阪府大阪市中央区

■路線データ



官民連携による街路空間再構築・利活用の事例集



■都市区分 政令指定都市

■路線延長 -

■整備年代 -

■再整備区間 -

■利活用団体 -

■再構築・利活用状況
【利活用】

■用途地域 商業地域

2016年に社会実験で、なんば駅前の道路を一方通行化し、カフェや休憩スペース等の設置、日替わりでマーケットやライブ等のイベントを実施

■参考情報リンク
<http://www.namba-hiroba.jp/index.php>

■概要

多様な商業施設や観光資源が集積するなんば駅周辺の道路空間を、官民連携で車中心の空間から人中心の空間へと再編し、新たな憩いの空間や魅力ある都市空間の創出をはかる。2016年の社会実験をふまえ、「なんば駅周辺道路空間の再編に係る基本計画」を策定し、2018年には「なんば広場マネジメント法人設立準備委員会」を設立し、社会実験等の実施を検討しながら、エリアマネジメントの実現に向けて取組んでいる。

さかさ川通り

さかさがわどおり

大田区

ウォーカブル推進都市

所在地：東京都大田区蒲田

■路線データ



歩行者天国



その他利活用



再構築



駅前



地図出典：OpenStreetMap

■参照

ストリートデザインガイドライン



■都市区分 特別区

■整備年代 2014

■利活用団体 一般社団法人蒲田東口おいしい道計画

■用途地域 商業地域

■参考情報リンク
<http://oishiimichi.com/>

■概要

地域の回遊性を担うストリートとしての活性化が望まれており、地元からの提出されたデザイン案をふまえて、再構築を実施した。再構築の際に、歩車道の舗装の材質とパターンを統一しており、イベント時の使い勝手も考慮し、歩車道境界は最小限の段差としている。2015年に国家戦略道路占用事業に指定されて、年に数回季節に応じて嗜好を凝らしたイベントを実施している。

■路線延長 約0.1km

■再整備区間 約0.1km

■再構築・利活用状況

【再構築】総幅員は変更せず車道を2車線から一方通行1車線とし、スラローム形状に再整備

【利活用】国家戦略道路占用事業を活用してマルシェ等の実施

康生通り

こうせいどおり

岡崎市

ウォーカブル推進都市

所在地：愛知県岡崎市康生通東

■路線データ



軒先利用



パークレット



商店街



地図出典：OpenStreetMap

■参考

ストリートデザインガイドライン

官民連携による街路空間再構築・利活用の事例集



■都市区分 中核市

■整備年代 －

■利活用団体 株式会社まちづくり岡崎
(都市再生推進法人)

■用途地域 商業地域

■路線延長 約0.3km

■再整備区間 －

■再構築・利活用状況
【利活用】

軒先スペースの活用とともに、2018年は民間駐車場を共同駐車場として活用し、2019年は車道を占用しパークレットを設置した。2020年は歩道に休憩スペースを設置し、2021年からその常設化を目指している。

■参考情報リンク
<https://quruwa.jp>

■概要

乙川リバーフロント地区内の豊富な公共空間を活用した公民連携プロジェクトを実施することにより、QURUWAの回遊を実現させ、波及効果として、まちの活性化（暮らしの質の向上・エリアの価値向上）を図るQURUWA戦略に道路再構築事業として位置付けられている。2018年度から道路空間の利活用に関する社会実験を実施している。

連尺通り

れんじゅくどおり

岡崎市

ウォーカブル推進都市

所在地：愛知県岡崎市連尺通

■路線データ



地図出典：OpenStreetMap

■参考

ストリートデザインガイドライン

官民連携による街路空間再構築・利活用の事例集



■都市区分 中核市

■路線延長 約0.3km

■整備年代 －

■再整備区間 －

■利活用団体 株式会社三河家守舎
(都市再生推進法人)

■再構築・利活用状況
【利活用】

■用途地域 商業地域

2018年は軒先と空き地を活用し、2019年はその範囲を拡張して実施した。2020年は通りの歩行者天国化の実施と、歩道に休憩スペースを設置する実験を予定し、2021年からの常設化を目指している。

■参考情報リンク
<https://quruwa.jp>

■概要

乙川リバーフロント地区内の豊富な公共空間を活用した公民連携プロジェクトを実施することにより、QURUWAの回遊を実現させ、波及効果として、まちの活性化（暮らしの質の向上・エリアの価値向上）を図るQURUWA戦略に道路再構築事業として位置付けられている。2018年度から道路空間の利活用に関する社会実験を実施している。

県庁通り

けんちょうどおり

岡山市

ウォーカブル推進都市

所在地：岡山県岡山市

■路線データ



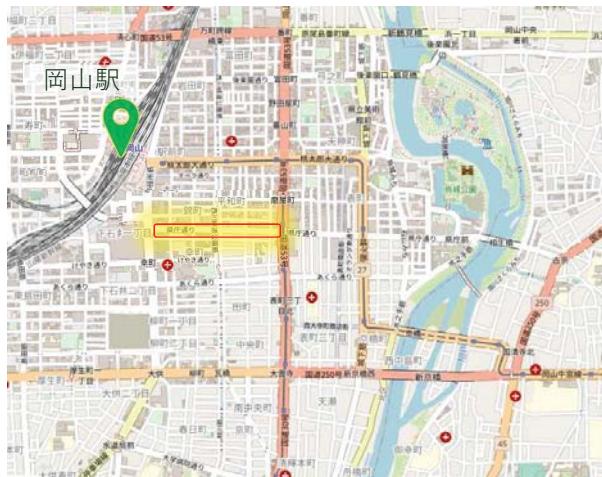
軒先利用



再構築



将来イメージ



地図出典：OpenStreetMap

■参考

ストリートデザインガイドライン

■都市区分 政令指定都市

■整備年代 2022年（予定）

■利活用団体 県庁通り沿道組織

■用途地域 商業地域

■参考情報リンク
<https://www.city.okayama.jp/shisei/0000007329.html>

■路線延長 約2.0km

■再整備区間 約0.6km

■再構築・利活用状況

【再構築】総幅員は変更せず車道を2車線から1車線にし、自転車走行空間と十分な歩行空間を確保

【利活用】沿道店舗等が軒先の歩道1mを活用できる仕組みを構築（都市再生特別措置法）

■概要

「車中心」から「人優先」の安全で快適な「歩いて楽しい」道路空間の創出と、幅広い年代・多種多様な方が魅力を感じる空間の創出を目的に県庁通り歩いて楽しい道路空間創出事業を実施している。車道を1車線化する交通社会実験を皮切りに、計画段階から沿道事業者等を巻き込み再整備のデザイン等に反映。また、拡幅した歩道空間の利活用を想定した社会実験の実施や、あらかじめ活用できるエリアを明確にした歩道デザインとしている。

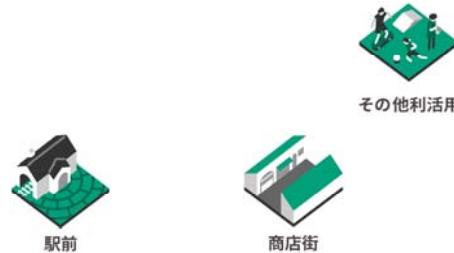
女川駅前 レンガみち

おながわえきまえれんがみち

女川町

所在地：宮城県女川町女川二丁目、海岸通り

■路線データ



地図出典：OpenStreetMap

■参照

ストリートデザインガイドライン

■都市区分 人口～10万人

■整備年代 2015年

■利活用団体 女川みらい創造株式会社

■用途地域 近隣商業地域、商業地域、準工業地域

■参考情報リンク

https://www.town.onagawa.miyagi.jp/hukkou/nigiwai_map.html

■概要

レンガみちは2015年に女川町中心市街地のシンボル空間として、歩行者専用道路として整備された。中央部を歩行者の主導線として、並木と照明を一直線に配置。ストリートファニチャーを並木の軸線上に配置することで、「溜まる人」「通る人」それぞれのための空間をゆるやかに区分している。2016年に町内団体で構成する「おながわレンガみち交流連携協議会」を設立し、音楽ライブやイベントなどを主導。2017年度には78件のイベントを実施している。（参考資料：中小企業庁「はばたく商店街30選」2019年度版）

■路線延長 約0.4km

■再整備区間 約0.4km

■再構築・利活用状況
【利活用】

レンガみちを取り囲む商業施設（シーパルピア女川）の開業を契機とした、公民連携によるレンガみちの積極活用が進んでいる。

ストリートパーティー

すとりーとぱーていー

柏市

ウォーカブル推進都市

所在地：千葉県柏市柏

■路線データ



歩行者天国



駅前



商店街



地図出典：OpenStreetMap

■参考

ストリートデザインガイドライン



写真提供：一般社団法人柏アーバンデザインセンター（UDC2）

■都市区分 中核市

■整備年代 －

■利活用団体 一般社団法人柏アーバンデザインセンター（UDC2）

■用途地域 商業地域

■参考情報リンク
<https://www.udc2.jp/>

■概要

日曜・祝日に歩行者天国となる駅前通りを利用して、定期的に「ストリートパーティー」を開催している。1日限定で開催される「パーティー」（イベント）であるが、単なる集客ではなく、子ども・高齢者の居場所づくり、子どもが安全に遊べる場所づくり、地域コミュニティの形成等を目的としており、普段は自動車の通行する道路を子どもや高齢者も安心して過ごし、遊べる空間として開放している。

また、この取り組みでは同時に、将来の利活用の担い手育成に向けて運営への参加者も募集している。

■路線延長 約0.2km

■再整備区間 －

■再構築・利活用状況
【利活用】
イベントの開催及び芝生やファニチャーの設置

特別区道墨22号路線

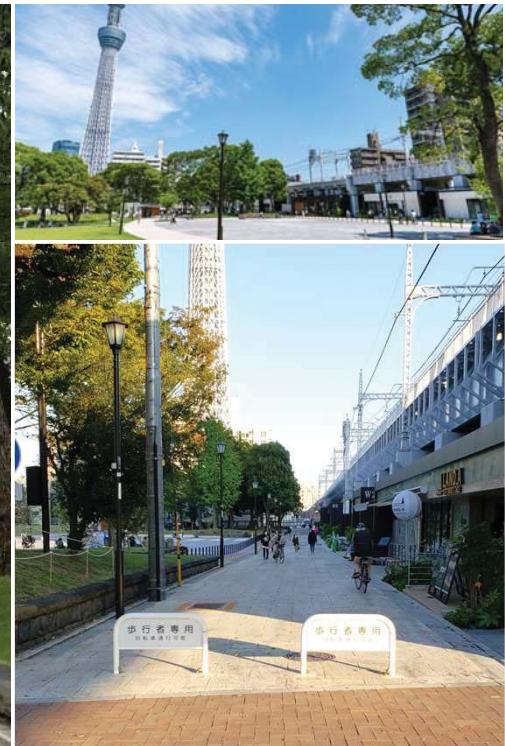
とくべつくどうすみ22ごうろせん

墨田区

ウォーカブル推進都市

所在地：東京都墨田区向島一丁目3番先

■路線データ



■都市区分 特別区

■路線延長 約0.5km

■整備年代 2020年

■再整備区間 約0.2km

■利活用団体 －

■再構築・利活用状況

■用途地域 第一種住居地域

【再構築】総幅員は変えず、景観に配慮した石畳風デザインの舗装(半たわみ性舗装表面にカッター目地を入れたもの)とし、コミュニティ道路へと再整備

■参考情報リンク

【利活用】終日車両通行規制(自転車を除く。)を実施

https://www.city.sumida.lg.jp/matzukuri/kasen_kyouryou/KitajukkengawaSumida.html

■概要

東京スカイツリー・浅草間の賑わい創出と回遊性向上を目的に、水辺を中心とした鉄道高架下、北十間川北側道路(当該路線)、隅田公園(南側の一部)等の一体的な整備を行う「北十間川・隅田公園観光回遊路整備事業」を実施している。

■参考

魚町サンロード

うおまちさんろーど

北九州市

ウォーカブル推進都市

所在地：福岡県北九州市小倉北区魚町

■路線データ



地図出典：OpenStreetMap

■参考

ストリートデザインガイドライン

官民連携による街路空間再構築・利活用の事例集



道路整備前



道路整備後

■都市区分 政令指定都市

■整備年代 2016年

■利活用団体 魚町まちづくり推進協議会

■用途地域 商業地域

■参考情報リンク
<http://www.uo-sun.or.jp/>

■概要

アーケード撤去とともにデザイン舗装を実施した道路では、地域団体が国家戦略特区を活用し、道路空間の一部を占用したオープンカフェやマルシェを実施することで、日常的なにぎわいを創出している。これによりエリアの魅力が向上し、歩行者数や沿道の店舗数が増加するなど、商店街の再生にもつながっている。

四条通

しじょうどおり

京都市

ウォーカブル推進都市

所在地：京都府京都市下京区

■路線データ



駅前



商店街



再構築



地図出典：OpenStreetMap

■参照

ストリートデザインガイドライン

官民連携による街路空間再構築・利活用の事例集



整備前



整備後

■都市区分 政令指定都市

■路線延長 約1.1km

■整備年代 2015年

■再整備区間 約1.1km

■利活用団体 -

■再構築・利活用状況
【再構築】

■用途地域 商業地域

街路空間の再構築により、歩道を拡幅するとともにテラス型バス停の導入及びバス停の集約を実施

■参考情報リンク

<https://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/page/0000241999.html>

■概要

2005年に地元商店街からの要望があって以降、約10年の歳月をかけて市民と共に検討を重ね実現に至ったシンボル的な取組みである。中心市街地において、幹線道路の車線数を片側2車線から1車線に減少させることにより歩道を拡幅し、歩行者や公共交通優先の空間を創出した。

花畠広場

はなばたひろば

熊本市

ウォーカブル推進都市

所在地：熊本県熊本市中央区花畠町

■路線データ



地図出典：OpenStreetMap

■参考

ストリートデザインガイドライン



復興活動の拠点としての活用

飲食イベント

スポーツイベント

消防・救急フェア

■都市区分 政令指定都市

■整備年代 2015年～工事中※2021年3月時点

■利活用団体 -

■用途地域 商業地域

■参考情報リンク

https://www.city.kumamoto.jp/hpkiji/pub>List.aspx?c_id=5&class_set_id=2&class_id=2632

■路線延長 約0.2km

■再整備区間 約0.2km

■再構築・利活用状況

【再構築】市道の廃道とオープンスペースの整備、舗装の美装化

【利活用】一部区画を広場として暫定供用し、マルシェ等のイベントに活用。また、災害発生時には復興拠点機能を設置。

■概要

「熊本城と庭つづきの『まちの大広間』」の全体コンセプトのもと、熊本城へと至る4車線道路を廃止・歩行者専用化することにより、シンボルプロムナード・花畠広場等で構成される大規模なオープンスペースへと再構築が進められている。条例広場として運用されており、2015年～2019年に一部区画の暫定供用による利活用や、2016年4月に発生した熊本地震ではボランティアセンターが設置され、復興活動の拠点として機能した。2020年より広場整備工事中。2021年秋完成予定。

三宮中央通り

さんのみやちゅうおうどおり

神戸市

ウォーカブル推進都市

所在地：兵庫県神戸市中央区三宮町

■路線データ



パークレット



駅前



商店街



地図出典：OpenStreetMap

■参照

ストリートデザインガイドライン
官民連携による街路空間再構築・利活用の事例集



■都市区分 政令指定都市

■整備年代 2016年

■利活用団体 三宮中央通りまちづくり協議会

■用途地域 商業地域

■参考情報リンク
<https://kobevision.jp/projects/kobeparklet/>

■概要

三宮周辺地区の「再整備基本構想」等に基づく道路のリデザインの一環として、憩いや賑わい機能の創出の新たな取り組みとして、地域との協働によりパークレット設置の社会実験を2016年度に実施、2017年度以降は本格設置となっている。パークレット毎にレイアウトが異なり、グループ利用やテイクアウトカフェのような利用など、様々な形態の利用を想定したデザインが施されている。

葺合南54号線

ふきあいみなみ54ごうせん

神戸市

ウォーカブル推進都市

所在地：兵庫県神戸市中央区磯上通

■路線データ



地図出典：OpenStreetMap

■参照

ストリートデザインガイドライン



■都市区分 政令指定都市

■路線延長 約0.8km

■整備年代 2016年

■再整備区間 約0.2km

■利活用団体 -

■再構築・利活用状況
【再構築】

■用途地域 商業地域

対面通行2車線および停車帯が整備されていた街路を、一方通行1車線化し、歩道を拡幅

■参考情報リンク
<https://kobevision.jp/projects/fukiaiminami/>

■概要

当路線付近は従来から、自動車と歩行者の交通量の比率と、幅員構成がミスマッチな状態となっていた。2012年から、「三宮南まちづくり協議会」との意見交換を重ね、1車線化の工事を2016年度から行っている。スラローム形状とすることで通過交通の速度抑制を図っているほか、拡幅された歩行空間にベンチ等が整備された。

おおみや ストリートテラス

おおみやすとりーとてらす

さいたま市

ウォーカブル推進都市

所在地：埼玉県さいたま市大宮区宮町

■路線データ



軒先利用



駅前



■参照

ストリートデザインガイドライン



写真提供：アーバンデザインセンター大宮

■都市区分 政令指定都市

■整備年代 －

■利活用団体 おおみやストリートテラス実行委員会
アーバンデザインセンター大宮
(都市再生推進法人)

■用途地域 商業地域

■参考情報リンク <http://www.udco.jp/tag/おおみやストリートテラス/>

■路線延長 約0.5km

■再整備区間 －

■再構築・利活用状況
【利活用】

都市計画道路の道路予定区域や民有地軒先等の活用により、店舗・休憩・駐輪等の機能を持った仮設施設を設置・運営（社会実験）

■概要

当該路線は、大宮駅周辺地域戦略ビジョンにおける「おもてなし歩行エリア」に位置する。都市計画道路の道路予定区域や民間コインパーキング、沿道事業者敷地、店舗軒先道路等の利活用により大宮らしい新たな日常を創出することを目的に2017年より取り組まれている。都市再生推進法人アーバンデザインセンター大宮(UDCO)のコーディネートにより、商店会/民間事業者/大学/行政など産官学民が参画する実行委員会を組成し実施している。また2020年より、道路予定区域や軒先において、お弁当の販売やキッチンカー営業をおこなうストリートランチ、植栽を設置して快適な街路空間を生み出すストリートプランツ等、ストリートテラスの「日常化」に向けた取り組みも実施している。

呉服元町 ストリートマーケット

ごふくもとまちすとリーとまーけっと

佐賀市

ウォーカブル推進都市

所在地：佐賀県佐賀市呉服元町

■路線データ



軒先利用



商店街



地図出典：OpenStreetMap

■参照

ストリートデザインガイドライン



■都市区分 人口10～40万人

■路線延長 約0.2km

■整備年代 －

■再整備区間 －

■利活用団体 呉服元町ストリートマーケット株式会社
株式会社ワークヴィジョンズ

■再構築・利活用状況
【利活用】

■用途地域 商業地域

歩行者専用道路におけるマルシェ実施や芝生、ファニチャーレンタル等

■参考情報リンク
<https://www.facebook.com/GOFUKUMOTOMACHISTREETMARKET/>

■概要

沿道のリノベーション店舗や広場スペースとあわせ、歩行者専用道路の利活用が行われている。地元の商店主や住民の参画による定期的なマルシェが開催されており、将来に渡る持続的かつ魅力ある道路の自主運営管理の実現を目指した取り組みとなっている。

北3条広場

きたさんじょうひろば

札幌市

ウォーカブル推進都市

所在地：北海道札幌市中央区

■路線データ



■都市区分 政令指定都市

■整備年代 2014年

■利活用団体 札幌駅前通まちづくり株式会社

■用途地域 商業地域

■路線延長 約0.1km

■再整備区間 約0.1km

■再構築・利活用状況

【再構築】相互通行の2車線道路だったところを、広場との兼用工作物として取り扱い、空間を創出。

【利活用】年間を通じて、マルシェ、音楽イベント、イルミネーション等のイベントを開催。

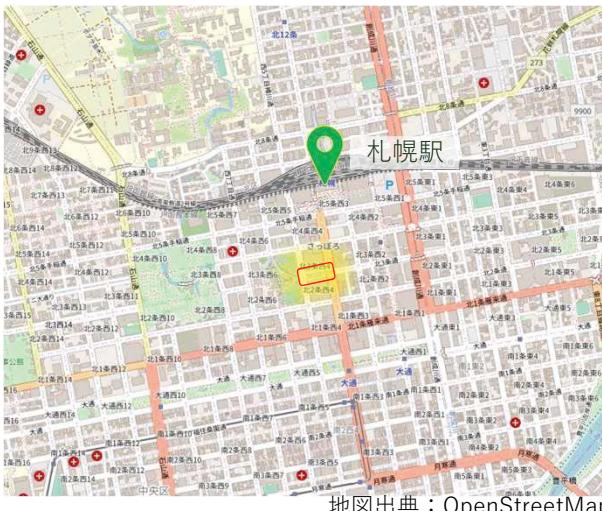
■参考情報リンク

<https://www.kita3jo-plaza.jp/>

<https://www.city.sapporo.jp/kikaku/downtown/project/kita3jouhiroba.html>

■概要

隣接地での新規ビル建設プロジェクトを進めていた民間事業者による公共貢献の一環として空間整備を行い、道路と広場の兼用工作物として整備。愛称として「アカプラ」の名称、ロゴマークを定めている。整備当初から指定管理者制度を導入し、エリアマネジメント団体である札幌駅前通まちづくり株式会社が管理運営を担っている。同社は札幌駅前通地下歩行空間（チ・カ・ホ）のイベント広場の管理運営も担っており、駅前通沿道企業と連携し、地上と地下が一体となった賑わい作りを進めている。



地図出典：OpenStreetMap

■参照

ストリートデザインガイドライン

大通り すわろうテラス

おおどおりすわろうてらす

札幌市

ウォーカブル推進都市

所在地：北海道札幌市中央区

■路線データ



その他利活用



地図出典：OpenStreetMap

■参考



■都市区分 政令指定都市

■整備年代 2013年

■利活用団体 札幌大通まちづくり株式会社
(都市再生推進法人)

■用途地域 商業地域

■路線延長 一

■再整備区間 一

■再構築・利活用状況
【利活用】

国道36号札幌駅前通歩道部にて、飲食店や物販店などが出店できる食事購買施設や、オープンカフェとしても利用が可能な木製デッキを設置している。

■参考情報リンク
http://sapporo-odori.jp/works/swallow_terace/

■概要

都市再生特措法に基づく道路占用特例をうけ、食事・購買施設や広告塔の整備を進め、2013年に開設。オープンカフェ事業および、3基の広告塔による広告事業を展開。実施主体である札幌大通まちづくり株式会社は美化清掃活動、違法駐輪の整序や注意喚起などの道路維持管理活動を行っている。

さっぽろ シャワー通り

さっぽろシャワーどおり

札幌市

ウォーカブル推進都市

所在地：北海道札幌市中央区

■路線データ



■参照

ストリートデザインガイドライン

■都市区分 政令指定都市

■整備年代 2006年

■利活用団体 -

■用途地域 商業地域

■参考情報リンク

<https://www.city.sapporo.jp/kikaku/downtown/toshinkotsu/action/shower.html>

■路線延長 約0.1km

■再整備区間 約0.1km

■再構築・利活用状況

【再構築】歩道を拡幅し、車道を1車線化。

【利活用】荷さばきの時間帯を制限し、それ以外の時間は歩行者空間化することで、空間のタイムシェアを図る。

■概要

安全な歩行空間の確保と駐車対策の促進を目的として、歩行空間の拡大および荷さばきスペース設置の社会実験を経て、2006年に歩道を拡幅し、車道を1車線化した。一定間隔で車止めを設置することで違法駐車を抑制するほか、荷さばき時間を21時半から11時半に限定し、それ以外の時間は歩行者の空間として開放することでタイムシェアを図っている。

青葉通線

あおばどおりせん

静岡市

ウォーカブル推進都市

所在地：静岡県静岡市葵区両替町

■路線データ



その他利活用



地図出典：OpenStreetMap

■参照

官民連携による街路空間再構築・利活用の事例集



■都市区分 政令指定都市

■路線延長 約0.5km

■整備年代 －

■再整備区間 －

■利活用団体 (公財) 静岡市まちづくり公社

■再構築・利活用状況
【利活用】

■用途地域 商業地域

2015年、2016年に、プレイスメイキングアクションin静岡（社会実験）として、可動椅子やテーブル、芝生等を設置

■参考情報リンク

<https://www.city.shizuoka.lg.jp/koen/detail.php?id=2>

■概要

公共空間の再生・活用を目指す産官学のプラットフォームである「A.P.S.推進会議」からプレイスメイキングの考え方に基づいた改善方策の提案をうけ、空間活用調査などを実施。2014年からワークショップ、シンポジウムなどに取組み、そこでの議論を踏まえ「プレイスメイキング・アクション」として路上活用の社会実験を展開。2019年度では年に229日（青葉イベント広場：56日を含む）間でイベント等に活用されている。

追手町音羽町線

おうてまちおとわちょうせん

静岡市

ウォーカブル推進都市

所在地：静岡県静岡市追手町

■路線データ



地図出典：OpenStreetMap

■参考

官民連携による街路空間再構築・利活用の事例集

■都市区分 政令指定都市

■路線延長 約1.1km

■整備年代 2020年

■再整備区間 約0.2km

■利活用団体 御伝鷹まちづくり株式会社
(都市再生推進法人)

■再構築・利活用状況

【再構築】水辺デッキの構築による歩道空間の拡幅

■用途地域 第二種住居地域

【利活用】御伝鷹まちづくり株式会社と都市利便増進協定を締結し
カフェ店舗や広場利用による空間活用を実施

■参考情報リンク

https://www.city.shizuoka.lg.jp/299_000091.html

■概要

2014年度、地元からの空間活用についての要望書提出を契機に、地元・府内関係課・所轄警察で組織する空間活用検討協議会を設置。2019年度に御伝鷹まちづくり株式会社を都市再生推進法人に指定、2020年度には空間整備も完了し、「歴史文化への誘い道」として地域主体による道路空間の活用が進められている。水辺デッキを含めた歩道空間において、露店営業やイベント開催など賑わい活動が行われており、2021年春には、道路内建築物としてカフェ店舗がオープンし、『駿府ホリノテラス』を愛称に水辺デッキと一体的な空間活用が実現した。

HONEYCOMB SQUARE

Honeycomb Square

ハニカムスクエア

静岡市

ウォーカブル推進都市

所在地：静岡県静岡市呉服町

■路線データ



パークレット



地図出典：OpenStreetMap

■参考



■都市区分 政令指定都市

■整備年代 2020年

■利活用団体 呉六名店街・七間町名店街

■用途地域 商業地域

■参考情報リンク https://www.city.shizuoka.lg.jp/485_000054.html (ハニカムスクエアについて)
https://www.city.shizuoka.lg.jp/485_000058.html (アンケート結果と継続設置について)

■概要

街中に休憩スペースの設置を望む声が多い中、令和2年3月末に廃止となったパーキングチケット跡地を活用し、コロナ禍でも安心して屋外に滞留できるスペースとしてパークレットを設置することを静岡市から地元商店街に提案。早期に合意を得られたことから、社会実験として令和2年9月末より供用。設計・施工を静岡木材業協同組合に依頼し、デザインを取組みに協賛した地元民間企業が担当、商店街が維持管理を行う等、官民連携が図られている。なお社会実験は令和3年3月末で終了するが、継続を望む声が多いことから、継続設置されている。

渋谷川 リバーストリート

しぶやがわりばーすとりーと

渋谷区

ウォーカブル推進都市

所在地：東京都渋谷区渋谷三丁目

■路線データ



その他利活用



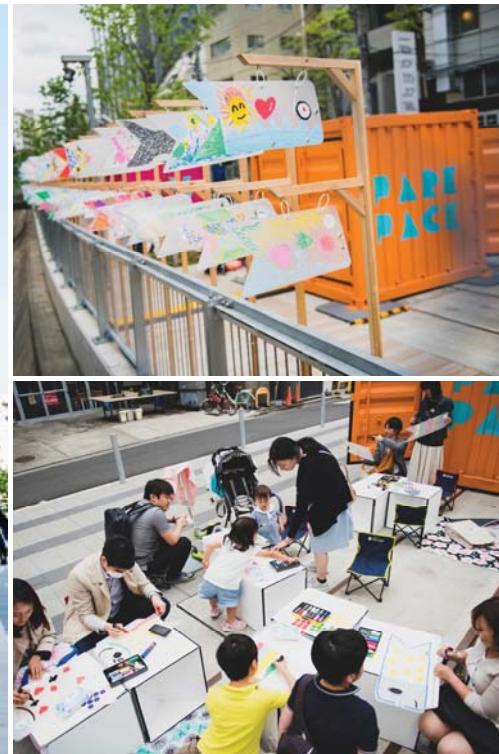
水辺



地図出典：OpenStreetMap

■参考

ストリートデザインガイドライン



■都市区分 特別区

■整備年代 2018年

■利活用団体 一般社団法人渋谷未来デザイン

■用途地域 商業地域

■参考情報リンク

<https://fds.or.jp/news/update044/>

<https://fds.or.jp/news/update039/>

■概要

東急東横線の代官山駅 - 渋谷駅間の地下化に伴い南北に伸びる細長い用地の再開発で生まれた遊歩道「渋谷川リバーストリート」。この公共空間を利活用する取り組みとして、一般社団法人渋谷未来デザインがコンテナを活用した社会実験プロジェクト「WORK PARK PACK（ワークパークパック）」を2019年3月から6月にかけて実施した。活用アイデアを募集したところ300を超える様々なアイデアが集まり、多様なアイデアの中から比較的実現可能性の高いものを選出、実現していった。

■路線延長 約0.4km

■再整備区間 -

■再構築・利活用状況

【再整備】東急東横線の地下化に伴い再整備

【利活用】公共空間の可能性を引き出すコンテナを活用した社会実験（Work Park Pack）を実施

渋谷中央街

しぶやちゅうおうがい

渋谷区

ウォーカブル推進都市

所在地：東京都渋谷区道玄坂一丁目

■路線データ



軒先利用



その他利活用



地図出典：OpenStreetMap

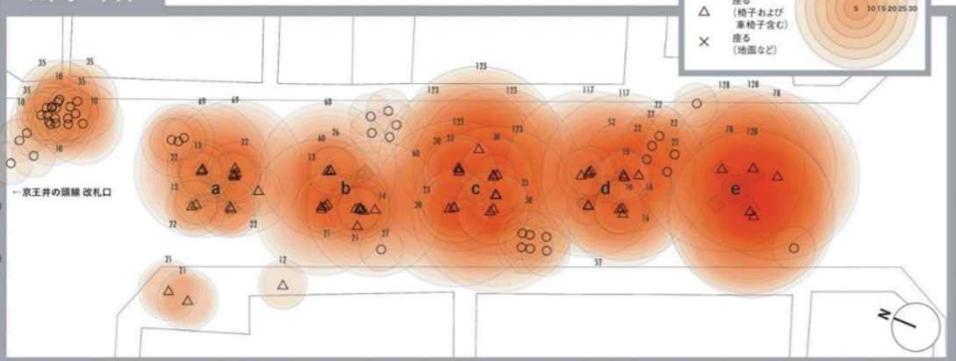
■参照

ストリートデザインガイドライン

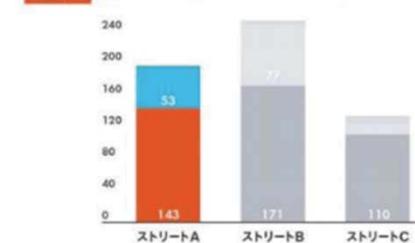


アクティビティマッピング

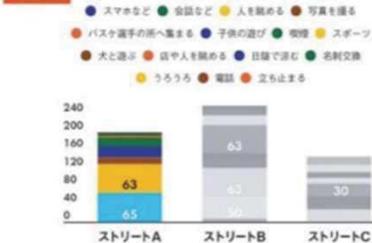
ストリートA



姿勢



種類



■都市区分 特別区

■整備年代 2014年～

■利活用団体 渋谷中央街 商店街加盟店舗

■用途地域 商業地域

■参考情報リンク

<https://sotonoba.place/shibuyatyuogairesearch>

<https://shibuyachuogai.com/blog/?p=3170>

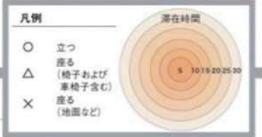
■概要

「渋谷中央街フェス」は渋谷中央街にて開催される祭事であり、2014年の初開催以降毎年開催している。中央街では当日12:00-19:00の間において交通規制が実施され、テーブルや椅子、パラソル、芝生、テント、バスケットゴール、キッチンカーなど多種の家具類が設置された。

なお、一般社団法人ソトノバでは渋谷中央街フェスにおけるアクティビティ調査を実施しており、これにより従来のような単なる歩行者数だけでなく、アクティビティの多様性や通りごとの違い等からイベントの効果を把握している。

1 2 3

SURVEY RESULTS | 調査結果



宮益坂

みやますざか

渋谷区

ウォーカブル推進都市

所在地：東京都渋谷区渋谷1丁目、2丁目

■路線データ



再構築



商店街



地図出典：OpenStreetMap

■参照

ストリートデザインガイドライン



■都市区分 特別区

■路線延長 約0.3km

■整備年代 －

■再整備区間 －

■利活用団体 －

■再構築・利活用状況

■用途地域 商業地域

【再構築】
パーキング・チケット台数縮小による歩行者空間の拡張等（社会実験）

■参考情報リンク

https://www.city.shibuya.tokyo.jp/kankyo/douro_kasen/ooyam_hokou_zitugen.html

■概要

歩行者中心の道路空間実現に向け、路上駐車の削減や歩行空間の拡張等、段階的な社会実験を実施している。H29年度は共同荷受施設の臨時設置、H30年度は仮設歩道による歩行者空間の拡張やパーキング・チケットの効率利用推進のため交通管理者の協力により交通規制の変更を試行、H31年度は休日の歩行空間利用やH30年度に実施した交通規制の変更の本格運用など、再整備に向けた段階的な社会実験を展開している。

新宿通り

しんじゅくどおり

東京都、新宿区 ウォーカブル推進都市

所在地：東京都新宿区新宿

■路線データ



地図出典：OpenStreetMap

■参照

ストリートデザインガイドライン

新宿駅東口地区歩行者環境改善協議会HP



■都市区分 特別区

■整備年代 －

■利活用団体 新宿駅東口地区歩行者
環境改善協議会

■用途地域 商業地域

■参考情報リンク
https://www.city.shinjuku.lg.jp/kusei/toshikei01_002151.html (新宿区HP)

■路線延長 約0.7km

■再整備区間 －

■再構築・利活用状況
【利活用】
歩行者天国（日曜、休日）
「SHINJUKU STREET SEATS」の設置の社会実験 (H29,H30,R1)

■概要

新宿駅東口地区では、地元商店街、学識経験者、警察、国、東京都及び新宿区で構成する「新宿駅東口地区歩行者環境改善協議会」を設置し、まち全体で歩きやすく魅力的な歩行者空間を創出し、まちの魅力と賑わいをより向上させることを目的に取組を行っている。

新宿通りでは、車道部分に仮設歩道とベンチを設置し、交通への影響の確認等を行うとともに、地域情報の発信や試飲イベントを行う等、賑わい創出のための道路空間の活用という観点も併せての社会実験を実施。

松陰神社通り

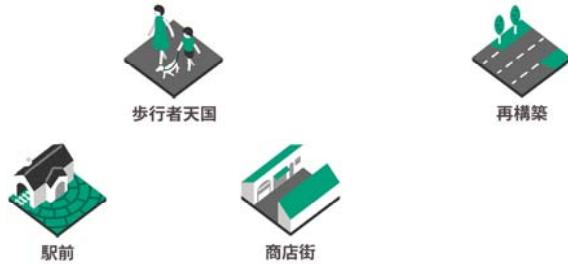
しょういんじんじやどおり

世田谷区

ウォーカブル推進都市

所在地：東京都世田谷区若林

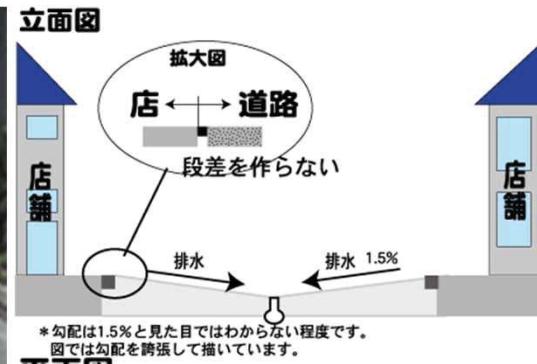
■路線データ



地図出典：OpenStreetMap

■参考

ストリートデザインガイドライン
松陰神社通り松栄会商店街振興組合HP



■都市区分 特別区

■整備年代 2007年

■利活用団体 松陰神社通り松栄会商店街振興組合

■用途地域 近隣商業地域

■参考情報リンク
<http://shoin-dori.com/barrier.html>

■概要

店舗の入口段差を解消し車いすも、ベビーカーも入りやすい環境整備、目の不自由な方にも安心して歩けるリーディングライン、店の位置がわかる音声案内装置の導入などを行うとともに、道路のはみ出した商品、看板を無くす運動を続けるなど「誰にでもやさしい商店街」づくりを行っている。お祭りのときは歩行者天国となる。

青葉通

あおばどおり

仙台市

ウォーカブル推進都市

所在地：宮城県仙台市青葉区

■路線データ



地図出典：OpenStreetMap

■参考

ストリートデザインガイドライン

官民連携による街路空間再構築・利活用の事例集



■都市区分 政令指定都市

■整備年代 2017年

■利活用団体 青葉通まちづくり協議会

■用途地域 商業地域

■参考情報リンク

■概要

「杜の都」仙台のシンボルである青葉通では、一部区間で車線を減らして歩道を拡幅する工事を行った。その後、町内会や沿道企業等からなるまちづくり協議会が主体となり、まち歩きツアーやマルシェイベントの企画、芝生や休憩施設を設置する社会実験等を毎年開催している。

定禅寺通

じょうぜんじどおり

仙台市

ウォーカブル推進都市

所在地：宮城県仙台市青葉区

■路線データ



軒先利用



その他利活用



地図出典：OpenStreetMap

■参考

ストリートデザインガイドライン

官民連携による街路空間再構築・利活用の事例集

■都市区分 政令指定都市

■路線延長 約0.7km (市道定禅寺通線の区間)

■整備年代 -

■再整備区間 -

■利活用団体 定禅寺通活性化検討会
SENDAI DEVELOPMENT COMMISSION INC. 等

■再構築・利活用状況

【利活用】
軒先へのベンチ等の設置(LIVING STREET PROJECT)(社会実験)
Green Loop Sendai の開催(年2回) 等

■用途地域 商業地域

■参考情報リンク

<https://www.city.sendai.jp/jozoji/documents/kasseika.html>

■概要

2001年にシンボルロード事業によってリニューアル。道路中央の分離帯にはケヤキ並木と遊歩道が整備され、定禅寺ストリートジャズフェスティバルやSENDAI光のページェントといったイベントの舞台として活用されている。定禅寺通に關係する町内会や街づくり団体、定禅寺通の沿道地権者等により構成された定禅寺通活性化検討会を2018年10月に設立し、定禅寺通エリアの将来像、エリアの活性化やさらなる魅力向上につながる取組み等の検討を行っている。

丸の内 ストリートパーク

まるのうちすとリーとぱーく

千代田区

所在地：東京都千代田区丸の内

■路線データ



地図出典：OpenStreetMap

■都市区分 特別区

■整備年代 2002年

■利活用団体 大丸有エリアマネジメント協会

■用途地域 商業地域

■参考情報リンク
<https://marunouchi-streetpark.com/>

■概要

丸の内仲通りは、建物低層部の改修や沿道街区の開発とあわせて整備を実施し、街並みの景観をマネジメントしながら歩道を両側7mに拡幅、樹木・ベンチ・屋外彫刻作品等を設置して豊かな歩行者環境を創出してきた。2019年・2020年には新たな街路空間のあり方や活用方法を検証すべく、MARUNOUCHI STREET PARKと言う社会実験を実施。安全・安心に利用できる空間づくりや、丸の内仲通りの将来のあり方を検証し、更なる人のための空間創出を目指している。



■参照

ストリートデザインガイドライン

IKEBUKURO LIVING LOOP

いけぶくろりびんぐるーぷ

豊島区

ウォーカブル推進都市

所在地：東京都豊島区東池袋、南池袋

■路線データ



軒先利用



駅前



■参照

ストリートデザインガイドライン



■都市区分 特別区

■整備年代 －

■利活用団体 グリーン大通りエリア
マネジメント協議会

■用途地域 商業地域

■参考情報リンク
<http://ikebukuropark.com/livingloop/>

■概要

「都市を市民のリビングへ」をキーワードに、グリーン大通り・南池袋公園を活用したマルシェやワークショップ等を定期的に実施している。

現在グリーン大通りでは、平成30年度から5年間をかけて再整備に向けた取り組みを実施している。

■路線延長 約0.3km

■再整備区間 －

■再構築・利活用状況
【利活用】
オープンカフェやマルシェを実施（社会実験）

富山グランドプラザ

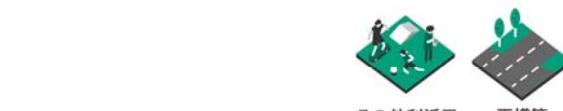
とやまぐらんどぶらざ

富山市

ウォーカブル推進都市

所在地：富山県富山市総曲輪

■ 路線データ



■ 参照

ストリートデザインガイドライン



■ 都市区分 中核市

■整備年代 2007年

■利活用団体 株式会社富山市民プラザ

■用途地域 商業地域

■参考情報リンク
<http://grandplaza.jp/>

■ 概要

民間の市街地再開発事業とあわせ、街区の廃道とする市道と開発のセットバック部分を集約し、条例によって管理されるガラス屋根のかかった全天候型の広場を整備した。公共用地と民有地が一体となった広場は、民有地（セットバック部分）を常に市が無償で供用し、整備・管理・運営を実施している。

広場の運用は「(株)富山市民プラザ」が行い、年間100件以上のイベントが開催されている。

新とよパーク

しんとよぱーく

豊田市

ウォーカブル推進都市

所在地：愛知県豊田市若宮町

■路線データ



地図出典：OpenStreetMap

■参考

ストリートデザインガイドライン



■都市区分 中核市

■整備年代 2018年

■利活用団体 新とよパーク・パートナーズ

■用途地域 商業地域

■参考情報リンク

<https://www.city.toyota.aichi.jp/shisetsu/sports/kouen/1031163/index.html>

■路線延長 -

■再整備区間 約1,200m²（約34m×約35m）※再整備面積

■再構築・利活用状況

【再構築】駅前広場の一部（道路用地）を多様な活動の受け皿となる自由度の高い広場へとリニューアル

【利活用】2015年度からあそべるとよたプロジェクトや実証実験をふまえてストリートスポーツ等様々な活動が実施可能

■概要

駅前広場の一部（道路空間）を多様な活動の受け皿となる自由度の高い広場へとリニューアルした事業。広場整備のデザイン検討から地域の方々とワークショップを行い、活動を制限する禁止事項ばかりの広場ではなく、広場に来てもらい楽しんでもらう利用者の「自由と責任の下」の理念によって成り立っている。広場の運営の一部は、企業、商店街、自治区、市民等で構成する「新とよパーク・パートナーズ」によって行われている。

長門湯本温泉

ながとゆもとおんせん

長門市

ウォーカブル推進都市

所在地：山口県長門市深川湯本

■路線データ



水辺



■参考

ストリートデザインガイドライン



■都市区分 人口～10万人

■整備年代 2020年

■利活用団体 長門湯本オソト活用協議会

■用途地域 商業地域

■参考情報リンク
<https://yumoto-mirai.jp/>

■概要

長門湯本温泉の再生を目的とした「長門湯本温泉観光まちづくり計画」をもとに、地域固有の資源である音信川の魅力を最大化するため、河川や道路など公共空間の活用や交通再編に向けた社会実験を地域主導で実施。検証結果を踏まえ、地域の民間事業者による川床やベンチなどの常設のほか、行政による道路や河川などの施設設計に反映し2020年春に整備を完了。音信川沿いの右岸道路はほぼ全線にわたり歩行者専用化。左岸道路には狭窄部を戦略的に設置することで交通の静穏化と川側の滞在空間の創出を両立。「そぞろ歩き」が楽しめる温泉街への再生を実現した。

長野中央通り (善光寺表参道)

ながのちゅうおうどおり
(ぜんこうじおもてさんどう)

長野市

ウォーカブル推進都市

所在地：長野県長野市大字南長野末広町
～大字長野大門町

■路線データ



地図出典 : OpenStreetMap

■参考

ストリートデザインガイドライン



■都市区分 中核市

■整備年代 2015年

■利活用団体 表参道ふれ愛通り推進委員会

■用途地域 商業地域

■参考情報リンク

■概要

「使ってみる」の試行として全7回もの社会実験を実施。地元住民や商店街の合意を得ながら、段階的に歩行者優先の道路整備を推進した。歩道幅員を拡大する道路空間の再配分のみならず、社会実験時におけるイベント等の試行結果をハード整備にフィードバックすることで、歩車道境界のフラット化、可動式ボラードの設置等、道路空間の活用に柔軟な対応ができる設えを確保している。

■路線延長 約1.6km

■再整備区間 約0.7km

■再構築・利活用状況

【再構築】車道幅員を減少させ、歩道幅員を拡大する道路空間の再配分に加えて、道路空間の柔軟な活用に配慮し、歩道と車道のフラット化を実施

【利活用】「表参道ふれ愛通り推進委員会」が主体となり、イベントの開催やオープンカフェ等の利活用を実施

大手前通り

おおてまえどおり

姫路市

ウォーカブル推進都市

所在地：兵庫県姫路市駅前町他

■路線データ



地図出典：OpenStreetMap

■参考

ストリートデザインガイドライン



■都市区分 中核市

■整備年代 2020年

■利活用団体 大手前みらい会議

■用途地域 商業地域
第二種中高層住居専用地域

■参考情報リンク

<https://www.city.himeji.lg.jp/shisei/0000000118.html>

■概要

交通の円滑化を図る環状道路網を整備することで、環状道路内は6車線から2車線のトランジットモールに再編し、合わせて高架下に自転車駐車場やバスプール等を整備することで、バス路線の増強や放置自転車の削減による歩行者優先の空間創出がされている。大手前通り街づくり協議会等の有志による組織「大手前みらい会議」が主体となり、歩道上に滞留施設や休憩施設を設ける社会実験「大手前通り活用チャレンジ『ミチミチ』」を実施している。また、令和3年2月12日に全国初の「歩行者利便増進道路」に指定された。

中尊寺通り

ちゅうそんじどおり

岩手県、平泉町

所在地：岩手県西磐井郡平泉町平泉

■路線データ



その他利活用

再構築



地図出典：OpenStreetMap

■参照

ストリートデザインガイドライン

■都市区分 人口～10万人

■整備年代 2017年

■利活用団体 平泉商工会

■用途地域 商業地域、近隣商業地域
第一種住居地域

■参考情報リンク

<http://library.jsce.or.jp/jsce/open/00897/2016/12-0097.pdf>

■概要

自動車交通を主体とした道路から地域の生活道路、駅から観光拠点に至る徒步ルートを兼ねた歩車共存道路として道路幅員の再構成、無電柱化を行っている。また、賑わい創出に関しては地域内資金循環等新事業開発検討事業を導入し、2014年に「中尊寺通りの街並み整備を活かした集客イベント開催等による賑わい空間の創出」をテーマに、新事業調査研究委員会を設置している。

■路線延長 約1.4km

■再整備区間 約1.4km（2021年2月現在約0.2km）

■再構築・利活用状況

【再構築】車道に異なる舗装材料を使用し、車両の走行空間が視覚的に狭く感じられる工夫を行うことで速度低下や進入抑制を促し、路側帯を歩行空間へと利活用

【利活用】「中尊寺通りホコ天まつり」を開催

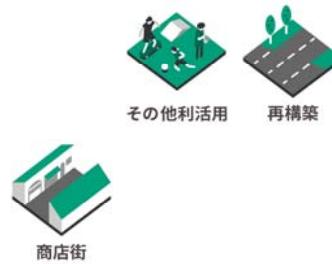
本通商店街/ 本通船町商店街

ほんどおりしょうてんがい/
ほんどおりふなまちしょうてんがい

福山市

所在地：広島県福山市今町、船町

■路線データ



地図出典：OpenStreetMap

■参照

ストリートデザインガイドライン



■都市区分 中核市

■整備年代 2016年

■利活用団体 福山本通商店街振興組合
福山本通船町商店街振興組合

■用途地域 商業地域

■路線延長 約0.4km

■再整備区間 約0.4km

■再構築・利活用状況

【再構築】アーケード撤去にあわせたデザイン舗装等
【利活用】周辺商店街等が主催する各種イベントを実施

■参考情報リンク

<https://www.g-mark.org/award/describe/45754>

■概要

福山市の本通および本通船町両商店街ではアーケードの天蓋撤去により、開放感のある緑化空間へのリニューアルを実施した。既存のアーケード柱を残しステンレスワイヤーを架け渡す等、従来のデザインを継承するようなユニークなデザインを施している。植栽等の検討は地域の意向を汲んで進められ、現在は協定にもとづきその維持管理を地域が担っている。取組実施以降、歩行者の通行量は増加し商店街の空き店舗は減少した。周辺商店街等により「福山まるしえのマルシェ」等の各種イベントで利活用されている。

春日表参道 「SUN DAYS PARK」

かすがおもてさんどう 「さんでいしばーく」

奈良市

所在地：奈良県奈良市三条町、油阪地方町

■路線データ



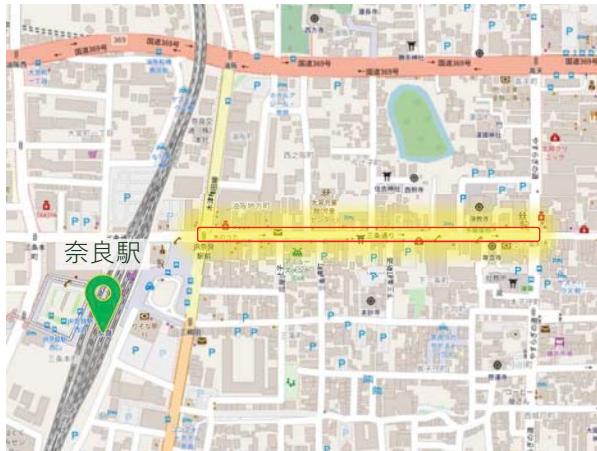
歩行者天国



駅前



商店街



地図出典：OpenStreetMap

■参考



■都市区分 中核市

■整備年代 2020年

■利活用団体 三条通ショッピングモール

■用途地域 商業地域

■参考情報リンク

<https://m.youtube.com/watch?v=awOxPDpQciA&feature=youtu.be>

■概要

新型コロナウイルス感染症の影響を受ける飲食店等を支援するとともに、withコロナ、afterコロナのニューノーマルに対応した「日曜日の新しい商店街をつくる」ことを目指した社会実験。当該路線が自転車歩行者専用道路になる時間帯にあわせて歩道上に芝生を敷設し、その上にテーブル、ハンモック、クッション等を設置することで、人々が思い思いの形でくつろげる、都市のリビング空間を創出し、来訪者の滞在時間の増加に寄与している。奈良市と三条通ショッピングモールによる公民連携事業として開始し、2021年春以降は民間主導による自立運営を予定している。

鉄輪温泉いでゆ坂等 地区内街路

かんなわおんせんいでゆざかなど
ちくないがいろ

別府市

ウォーカブル推進都市

所在地：大分県別府市鉄輪

■路線データ



地図出典：OpenStreetMap



■参考

ストリートデザインガイドライン



■都市区分 人口10～40万人

■路線延長 約0.7km

■整備年代 2009年

■再整備区間 約0.7km

■利活用団体 -

■再構築・利活用状況
【再構築】

■用途地域 商業地域

破損やいびつな状態の目立つ道路を石貼りの路面舗装へと再整備

■参考情報リンク

<https://www.mlit.go.jp/toshi/content/001338493.pdf>

■概要

鉄輪温泉地区は、別府八湯の一つとして鎌倉時代より湯治場として栄え、現在も豊富な温泉にめぐまれた別府を代表する温泉場の一つ。メインストリートを昔の情緒と賑わいのある温泉街に再生することを目的として石張り舗装、景観に合わせた順路サインの設置等を実施している。

旧山陽道

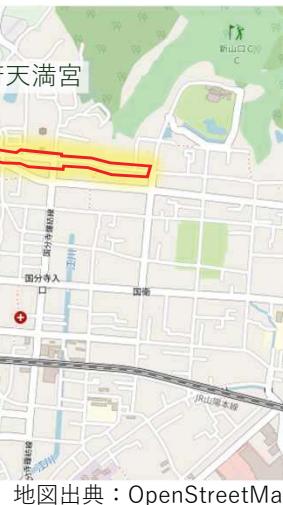
きゅうさんようどう

防府市

ウォーカブル推進都市

所在地：山口県防府市宮市町

■路線データ



地図出典：OpenStreetMap

■参考

ストリートデザインガイドライン



■都市区分 人口10～40万人

■路線延長 約1.5km

■整備年代 2019年

■再整備区間 約1.5km

■利活用団体 －

■再構築・利活用状況
【再構築】

■用途地域 近隣商業地域
第一種住居地域
第一種中高層住宅専用地域
第一種低層住居専用地域

2車線あった街路を対面通行として再整備。歩道の拡幅や舗装パターンを変更し、路側帯を拡張

■参考情報リンク

<https://www.city.hofu.yamaguchi.jp/soshiki/30/toshisaiseiseibikeikaku.html>

■概要

本整備地区は市の代表的な歴史観光施設である防府天満宮をはじめとする多くの文化財等の歴史的街並みが現存している。観光客の入込数及び滞在時間の増加、快適で安全な歩行者空間の創出、守り育ててきたまち並み環境の保全の3つを目標として、歴史的文化的資産の保存と都市基盤施設整備の両者が調和・共存するまちづくりを実践している。再構築にあたっては、歩道や路側帯を拡幅し溜まり空間を設置、さらに舗装パターンによって車線幅員を削減している。

ロープウェイ通り

ろーぷうえいどおり

松山市

ウォーカブル推進都市

所在地：愛媛県松山市大街道三丁目ほか

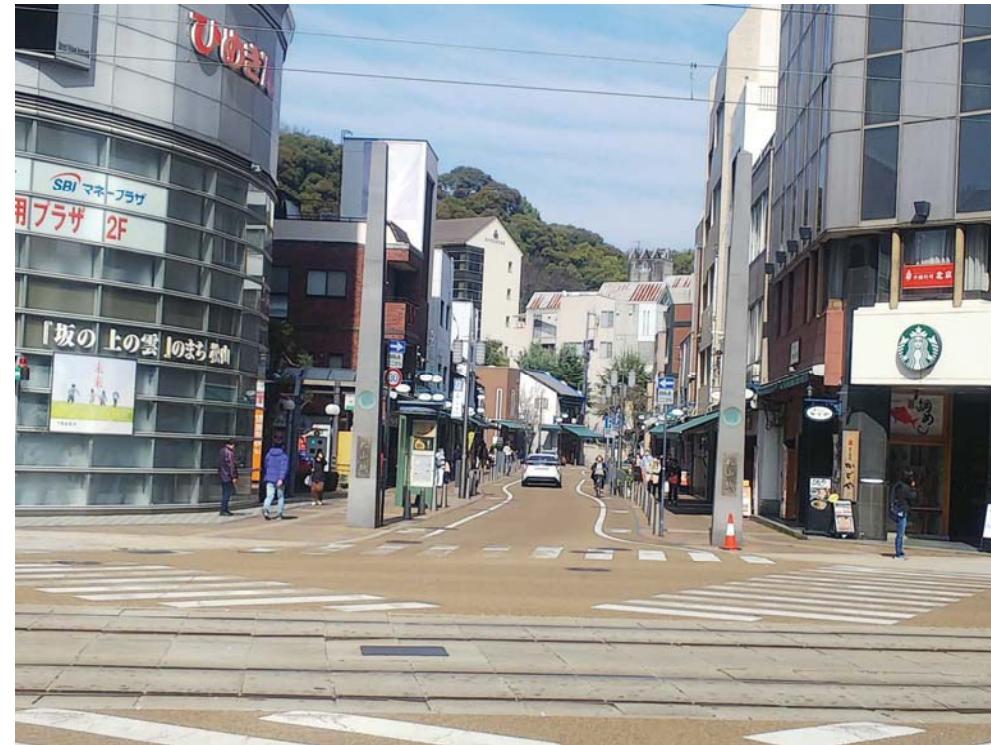
■路線データ



再構築



商店街



■都市区分 中核市

■路線延長 約0.5km

■整備年代 2006年

■再整備区間 約0.5km

■利活用団体 -

■再構築状況

【再構築】車道の1車線化に伴う道路線形改良
電線類の地中化
アーケードの撤去 等

■用途地域 商業地域

■参考情報リンク

<https://www.mlit.go.jp/road/sisaku/dorokeikan/pdf/008.pdf>

■概要

大街道商店街の北に位置し、道中に松山ロープウェイ・リフト駅が整備されている。商店街の活性化等を図るため、2車線の車道を1車線に縮小する歩行者優先の道路空間の再配分を実施。道路整備と併せて、アーケードの撤去と無電柱化や沿道建物外壁面の改善等の景観整備を行っている。

■参照

ストリートデザインガイドライン

官民連携による街路空間再構築・利活用の事例集

花園町通り

はなぞのまちどおり

松山市

ウォーカブル推進都市

所在地：愛媛県松山市花園町ほか

■路線データ



軒先利用



駅前



再構築



■参考
ストリートデザインガイドライン
官民連携による街路空間再構築・利活用の事例集



■都市区分 中核市

■整備年代 2017年

■利活用団体 花園まちづくりプロジェクト協議会

■用途地域 商業地域

■路線延長 約0.3km

■再整備区間 約0.3km

■再構築・利活用状況

【再構築】片側2車線を1車線に縮小し、生まれた空間を自転車道や歩道に再配分

【利活用】マルシェ等のイベントを地元団体主催で定期的に開催

■参考情報リンク

https://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisei/kakukaichiran/tosiseibibu/dourokensetuka.files/300305hanazono_A3panfu.pdf

■概要

花園町通りは、伊予鉄道松山市駅から南堀端を結ぶ通りで、6車線を2車線まで減らし、自転車道を通すとともに、歩道空間を5mから最大10mまで拡幅。平成24年からワークショップと社会実験を繰り返し、賑わいと交流を育む「広場を備えた道路」をコンセプトとして、道路空間の再分配、シンボルロードにふさわしい景観整備、賑わいと交流の場づくりを行っている。

道後温泉駅前

どうごおんせんえきまえ

松山市

ウォーカブル推進都市

所在地：愛媛県松山市道後町一丁目
道後湯之町

■路線データ



地図出典：OpenStreetMap

■参考

ストリートデザインガイドライン

■都市区分 中核市

■路線延長 約0.3 km

■整備年代 2009年

■再整備区間 約0.3km

■利活用団体 －

■再構築・利活用状況

■用途地域 商業地域

【再構築】車道を歩行空間として再整備

■参考情報リンク

<https://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/soukou/soukou-magazine/1001siryo2.pdf>

■概要

昼夜問わず観光客が来訪する道後温泉周辺ではバスやタクシー、旅館送迎車、一般車両の交通が多くなっている。道後温泉と道後温泉駅をつなぐ周辺の道路体系を再編し、街路の付け替えや歩道整備によって歩行者主体の滞留空間へと改編。

見附駅周辺整備事業

みつけえきしゅうへんせいびじぎょう

見附市 ウォーカブル推進都市

所在地：新潟県見附市

JR見附駅前広場周辺

■路線データ

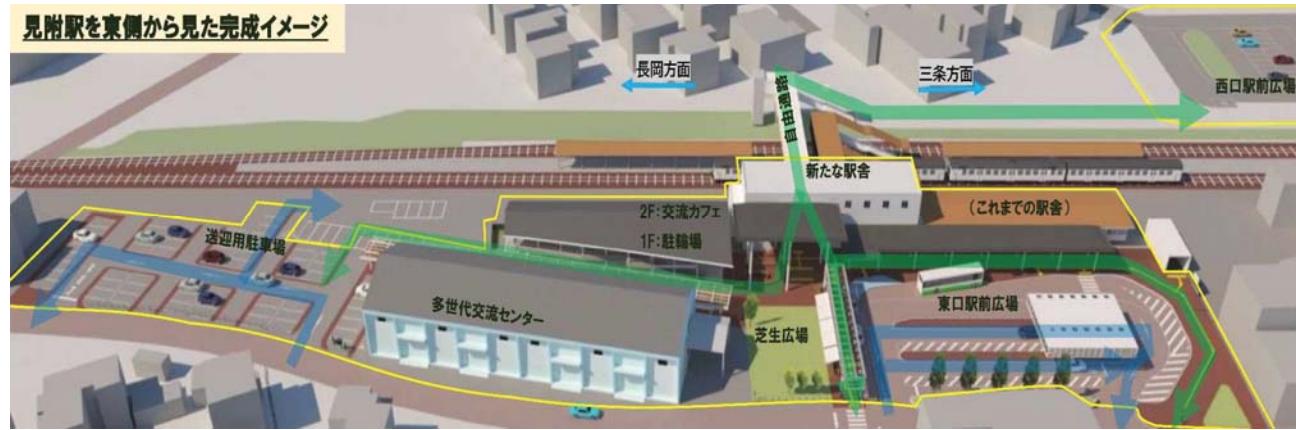


地図出典：OpenStreetMap

■参考

ストリートデザインガイドライン

見附駅を東側から見た完成イメージ



完成イメージ



■都市区分 人口～10万人

■整備年代 2018年

■利活用団体 みつけ駅周辺つかう会議

■用途地域 商業地域

■参考情報リンク

<https://www.city.mitsuke.niigata.jp/16914.htm>

■概要

見附駅周辺の課題である①交通渋滞の解消と②新たな賑わいや交流の創出に対応するため、2017年に協議会を設置した。協議会では、学識者、関係機関、公募市民等と、見附駅周辺整備基本計画の策定を目的として議論を開始。一方、使い手（若者や地元住民、企業関係者等）の立場からも、整備施設の必要な機能や賑わい創出に向けた意見交換の場として「みつけ駅周辺つかう会議」を発足させた。つかう会議では、駅周辺で利用が少なかった駐輪場2F等を活用し、集客イベントやワークショップ等の社会実験に取り組み、利活用に関する検討を進めた。2020年の工事開始と並行し、つかう会議の活動を通じて、事業のPRを図りながら円滑な事業促進に繋げている。

■路線延長 -

■再整備区間 見附駅駅前広場及びその周辺地域

■再構築・利活用状況

【再構築】駅周辺施設を含めた一体的な整備

【利活用】賑わい創出に向けた社会実験を通じ、整備後の駅の利活用の検討を進めている

牧之通り

ぼくしどおり

新潟県、南魚沼市

所在地：新潟県南魚沼市塩沢

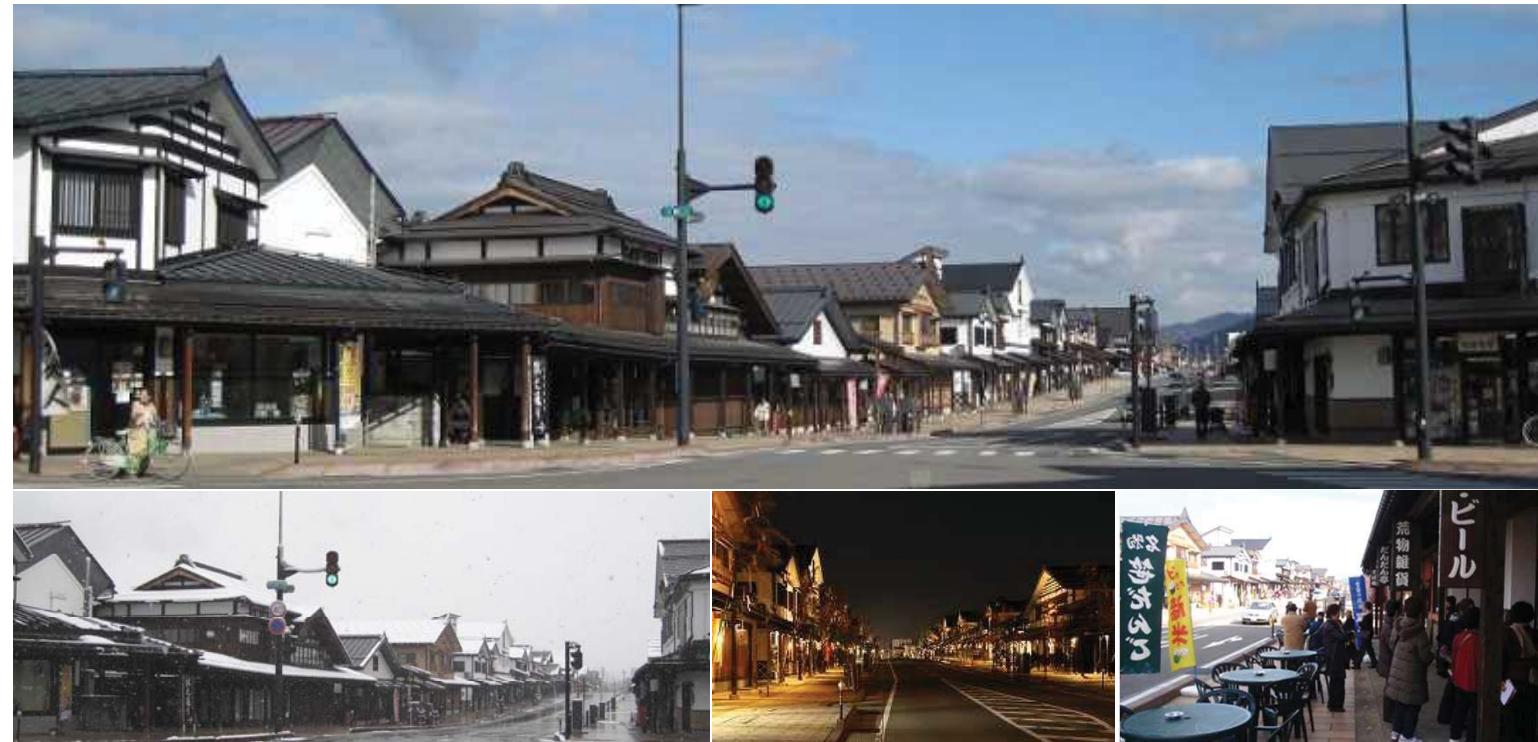
■路線データ



地図出典：OpenStreetMap

■参照

ストリートデザインガイドライン



■都市区分 人口～10万人

■整備年代 2010年

■利活用団体 牧之通り組合
牧之通り射干の会

■用途地域 近隣商業地域

■参考情報リンク

<http://www.city.minamiuonuma.niigata.jp/shisei/keikaku/tosikiban/keikan/1454742371871.html>

■概要

南魚沼市塩沢地区にある牧之通りは、街路事業(道路改良)を機に、伝統的な雪国建築を生かしたまちなみ形成をめざし、建築物のデザインルールによる外観・意匠の統一・色彩制限、さらには2mのセットバック空間に雁木を設置するなど、独自の建築協定を設け、雪国特有のまちなみとその魅力を復元した。地元の女性で組織された「牧之射干の会」が主体となり、年間を通じて様々なイベントが開催されている。

ENJOY OPEN STREETs 武藏野

えんじょい おーぷん
すとりーと むさしの

武藏野市

ウォーカブル推進都市

所在地：東京都武藏野市中町

■路線データ



歩行者天国



その他利活用



駅前



地図出典：OpenStreetMap

■参照

ストリートデザインガイドライン



■都市区分 人口10～40万人

■路線延長 約0.2km

■整備年代 －

■再整備区間 －

■利活用団体 地域団体や地元企業等

■再構築・利活用状況
【利活用】

オープencafé、歩行者天国等の社会実験

■用途地域 商業地域

■参考情報リンク

http://www.city.musashino.lg.jp/shisei_joho/machizukuri/mitaka_machizukuri/1025120.html

■概要

平成29年度に「三鷹駅北口街づくりビジョン」を策定し、「住む人、働く人が集い、心地よく過ごす街」を目指し、様々な施策を進めている。その一環としてこの社会実験「ENJOY OPEN STREETs 武藏野」では、駅周辺の車道を交通規制し、人工芝の広場や飲食ブース等を設け、「みちあそび」「飲食」「スポーツ体験」等、大人も子供も楽しくゆっくり過ごせる空間づくりを行った。

桜山横丁～サクヨコ～

さくらやまよこちょう～さくよこ～

盛岡市

ウォーカブル推進都市

所在地：岩手県盛岡市内丸

■路線データ



軒先利用



歩行者天国



その他利活用



商店街



地図出典：OpenStreetMap

■参照

—



■都市区分 中核市

■路線延長 約0.3km

■整備年代 —

■再整備区間 —

■利活用団体 サクヨコ実行委員会

■再構築・利活用状況
【利活用】

通行止めにより歩行者専用化、道路占用の許可基準緩和に準じて軒先利用を実施

■用途地域 第一種住居地域

■参考情報リンク

<http://www.mass-entame.jp/blog/4677/>

■概要

都市公園（史跡）内の通路において、今般の「道路占用に関するコロナ特例」に準じて道路空間の活用が行われた。期間内の金・土・日曜及び祝日の夕方～夜間の時間帯においてエリア内的一部区間を除いて歩行者専用化を実施し、飲食店等による軒先の利活用が取り組まれた。これにより、感染症の流行という状況下においても市民が安心して楽しめる空間を創出した。

葺手町こみち (紺屋町2号線)

ふきでちょうこみち (こんやちょうにごうせん)

盛岡市

ウォーカブル推進都市

所在地：岩手県盛岡市中ノ橋通

■路線データ



地図出典：OpenStreetMap

■参考



■都市区分 中核市

■整備年代 －

■利活用団体 葺手町商店会

■用途地域 商業地域

■参考情報リンク
<http://fukidecho.sblo.jp/>

■概要

一部区間を歩行者専用化することによりマルシェ等のイベントも実施したことのある当該路線では、今般の「道路占用に関するコロナ特例」を活用し道路空間の活用が行われた。占用箇所を現地表示するうえでは、地元の高校生によりデザインされたカラーコーンを採用するなど、地元が主体となったユニークな取り組みである。

■路線延長 約0.1km

■再整備区間 －

■再構築・利活用状況

【利活用】

車道の一部を仕切り、道路占用の許可基準緩和を活用した軒先利用を実施

元町パークレット

もとまちぱーくれっと

横浜市

ウォーカブル推進都市

所在地：神奈川県横浜市元町

■路線データ



歩行者天国 パークレット



地図出典：OpenStreetMap

■参考



■都市区分 政令指定都市

■路線延長 約0.7km

■整備年代 2020年

■再整備区間 一

■利活用団体 協同組合元町エスエス会

■再構築・利活用状況
【利活用】

■用途地域 商業地域、近接商業地域

元町通りの路上停車帯のうち一部を転用しパークレットを整備

■参考情報リンク

<http://www.jtpa.or.jp/contents/pdf/toshi118.pdf>

■概要

元町エスエス会がとりまとめた「横浜元町第4期街づくり基本計画」に基づく最初の取組として実施。滞留空間の創出を求める声を受け、街のホスピタリティ向上の一環としてパークレットを導入した。元町のイメージに合った高品質な家具類や照明器具を地元商店が製作・一体的に整備した。路上停車帯の転用にあたり、その代替機能を周囲の民間立体駐車場の改修等により確保している。

みなと大通り及び 横浜文化体育館周辺道路

みなとおおどおりおよび
よこはまぶんかたいいくかんしゅうへんどうろ

横浜市

ウォーカブル推進都市

所在地：神奈川県横浜市中区日本大通ほか

■路線データ



パークレット



再構築



駅前



■参考



■都市区分 政令指定都市

■整備年代 – (2020年に社会実験を実施)

■利活用団体 –

■用途地域 商業地域

■参考情報リンク

https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/doro/jigyo_kikaku/mina-bun.html

■概要

旧市庁舎街区の活用事業や、横浜文化体育館の再整備等を控える関内・関外地区の回遊性向上に向けて、道路空間の再構築や沿道と歩道の一体利用による賑わい創出を検討する社会実験を約1ヶ月間行った。カラーコーンや防護柵で暫定的に車線を制限し、沿道状況に合わせたパークレットを4地点計7基設置。什器等の利用状況を調査・記録し、ワークショップやアンケートを行うなどして、機運醸成にも取り組んでいる。

国道190号 (常盤通り)

ときわどおり

関係自治体

ウォーカブル推進都市

所在地：山口県宇部市常盤町

■路線データ



軒先利用



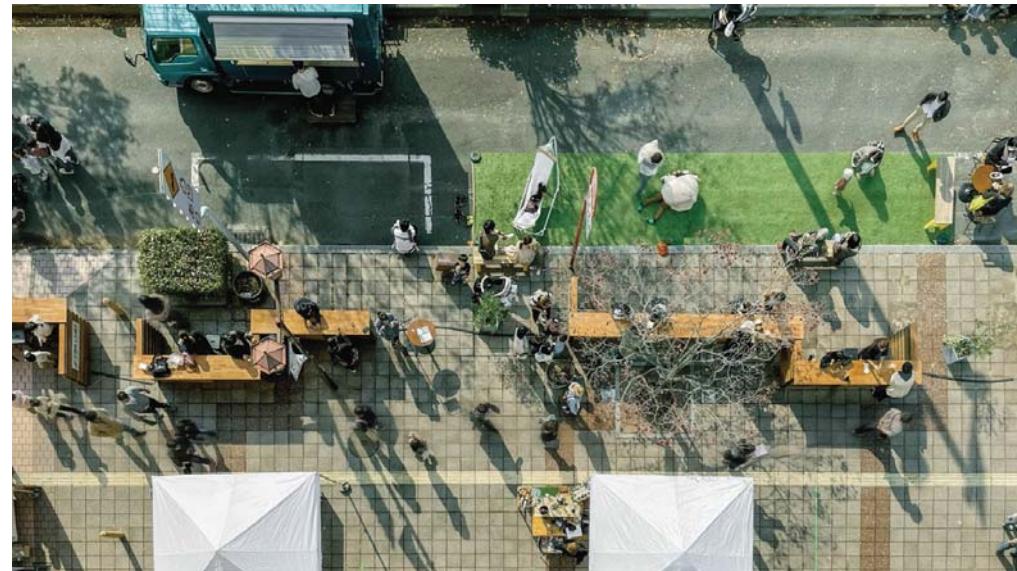
パークレット その他利活用



再構築



商店街



■都市区分 人口10～40万人

■路線延長 約0.7km

■整備年代 一

■再整備区間 約0.7km

■利活用団体 一

■再構築・利活用状況

【再構築】整備方針決定（令和4年9月）

【利活用】「滞在空間としてのベンチや人口芝などの施設の設置」
や「副道の活用形態の変更」を行うなど、賑わい創出と交通影響の
社会実験を実施（令和4年11月～12月）

■用途地域 商業地域

■参考情報リンク

<https://www.city.ube.yamaguchi.jp/machizukuri/toshikeikaku/chuushinshigaiichi/1005650/1014613/1016323/index.html>

■概要

国道190号（通称：常盤通り）の歩道や副道の一部を活用して、様々な使いができる公園のような居心地の良い歩行空間になるよう、学識経験者や地元関係団体等から構成する「宇部市常盤通りウォーカブル推進協議会」と専門的事項の検討等を行うための市民公募委員で構成する「にぎわい創出検討部会」を設置して議論を重ねるなど、市民・関係者等と一緒にウォーカブル化に取り組んでいる。

令和4年9月にウォーカブル化の整備方針を決定し、本整備方針に基づいて実施する社会実験等を通じて、安全性の確認や運営管理方法の検討等を進めている。